

ハナコトバ

作詞：半丁中人

目覚めればそこが現実だって生まれた時から思い込んで
それがふわりと壊れたら君はどこに立っている？
いつでもここは平穏です トラブルだって一つの刺激なんです
寝て起きて食ってまた眠る 今日も繰り返しましょう

ベルが鳴る

揺れるグラスドーム

中身が零れたよ

現と夢 境見失っても前にしか進めない

時計の針さえ折れてしまつて

願いも望みも声にしちやいなくて

うずくまつていたって暗い光に晒されているんだ

加減を知らない獣のように狂い咲く色は

星屑を穿って縫い繋ぐんだ 明日を

届くかな その中に

朝日がいやに暗く感じたんだよ

欠伸も上手く出てこないな

壊れたイヤホン 修理が終わるのはいつになるんだろう

傷付けさせたくないから傷付いて

やっどこまで辿り着いて

ゴールの先が振り出しでは何も意味がないでしょう

ベルが鳴る

揺れるクラスルーム

涙が零れたよ

初めまして古い旧い親友

嘔吐きは誰だろう

ドアを叩く

跳ねるプラットホーム

彼女は拒んだよ

雨宿りの屋根は脆くて

ずぶ濡れになるのもすぐだって諦めようか

終わらせようか

曇る鏡に影だけ映って

君だと分かかっていても触れられなくて

転んで擦り剥いたって叫ぶ痛みが上書きするんだ

疑念を持たない赤子のように染まり散る色は

悔恨を縫って崩れても

明日がまた僕の背を越えて行く

止まらない
変わらない
閉じたまま紡がれる物語
つまらない
惜しくない
笑っていて 少しだけ
もつとずつと先の先を見せておくれよ
いつかきつと果ての果てを歩けるから上を向いて

自分の姿も見えなくなつて
溢れる言葉を精一杯並べて
無限を悟つて折れかけたつて
立ち向かうだけの何かが湧き上がつて

時計のネジを巻き直したつて
願ひも望みも声にはならなくて
うずくまつた視界を照らす光がまだ眩しいんだ
所以を知らない悲しみだつて
くだらない愛を説いても拭えなくて
戻れないんだ 昨日に
分かつている だけど
側にいる

歪んだ世界の確かな感触
離れたくないからその手を伸ばして
滲んだ景色を越えて桜色の光が差し込んだ
加減を知らない獣のように咲き誇る日々が
星屑を穿つて取り戻すんだ 明日を
届けてよ

ずっと待っているから

Brave of you on eyes 誇りを掲げ

Brave of you on ears 奇跡じゃない

Brave of you on arms 生き様を背に

Brave of you on legs 燃え尽きるまで

Brave of you on a tongue 包み輝け

Brave of you on a voice 分かち合つて

Brave for your memories 心を誓ひ

Brave of you on a smile 君に微笑むよ